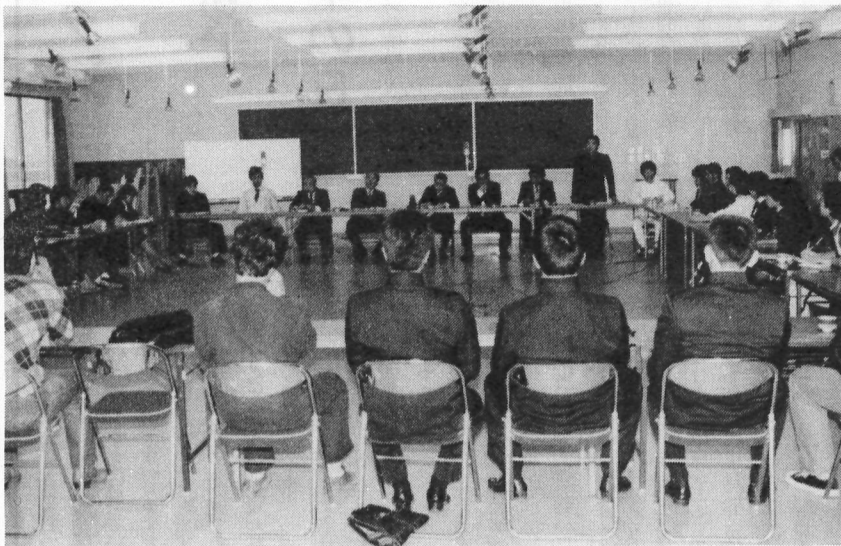


# 学長と工大生 Discussion '83

発行所  
大阪工業大学 應体文 澁祭実行委員会  
学生会  
援 育 化  
文 祭 行 委 員 会  
発行責任者  
大阪工業大学 應体文 澁祭実行委員会  
第二十一代 團長 林 賢 一



淀祭期間中の十月三十一日、正午より約二時間半、四号館六階のアトリエ室で「学長と工大生 DISCUSSION '83」と銘打って討論会が催されました。学長並びに諸先生方が出席されている中、初めは緊張していた参加者も、次第に活発な意見の交換をするようになり、予定の時間をオーバーしたものの、滞りなく無事終了しました。

この討論会は四団体、つまり体育会本部・文化会本部・澁祭実行委員会・応援団が中心となって、最近特に無気力だといわれる一般学生をなんとか活発にして少しでも志気を高め学生気質を変えて、自分達がおかれている現状に少しでも目を向けてもらおうという目的で、昨年暮れから計画を練り続けられたものです。学生という完全な社会人でもなく、また全く親の責任に保護されている訳でもない中途半端な立場である自分達が、これからの時代を、日本を背負っていく上で、どのような態度で望んでゆけばよいか。またそれ以前に大阪工業大学の一員としてどういった意識を持って学生生活を過ごせばよいか、厳しい国際事情のもと、世界の中でどういう風に日本を位置づければよいかなど、将来のことや、就職のことも兼ね合わせて話し、考えてもらおうと「世界の中の日本」「日本の中の工大」「工大の中での問題点」という三つの主な議題を掲げました。ここに書かれている討議内容、及び討議前あらかじめ参加者に対して行ったアンケートの結果を一読して、今の学生の現状に少しでも興味を持ち、皆さんの社会観に影響を与える事ができれば、主催者側としても幸いです。

今後我々は、工大発展と学生の志気向上のために色々な試みを計画していくつもりですので、その時は是非一人でも多くの学生に参加して戴きたいと思えます。

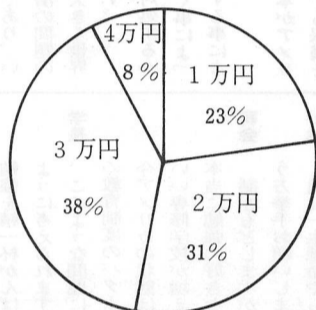
## 互 差 点

### 参加者のアンケート結果より

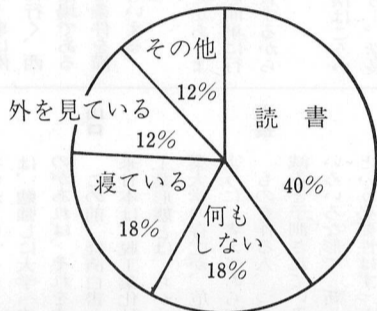
#### ○ 自宅生の方に

#### ○ 下宿生ですか 自宅生ですか

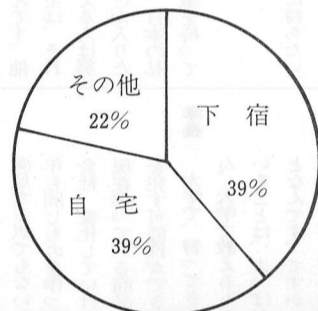
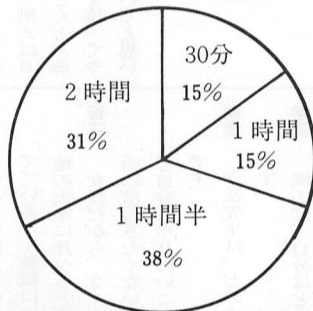
。こづかいは月にどのくらい使いますか



。通学時間中何をしていますか

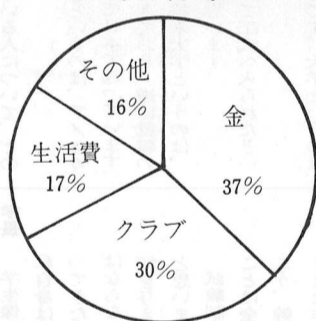


。通学時間はどのくらいかかりますか

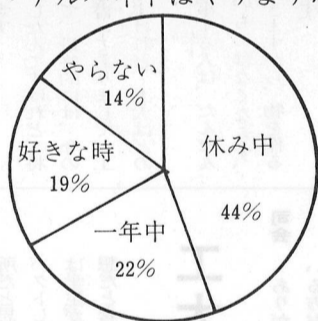


#### ○ 下宿生の方に

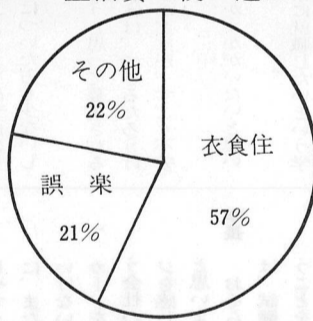
。その目的は



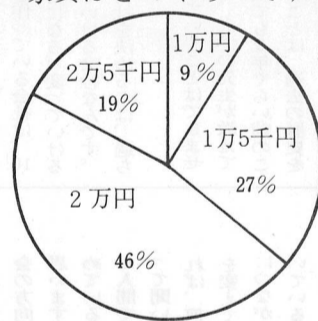
。アルバイトはやりませんか



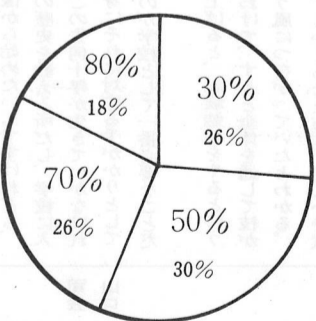
。生活費の使い道は



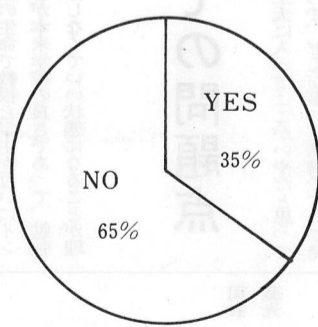
。家賃はどのくらいですか



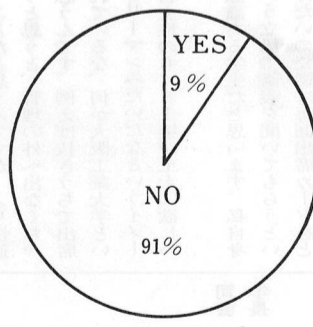
。授業の出席率は何%くらいですか



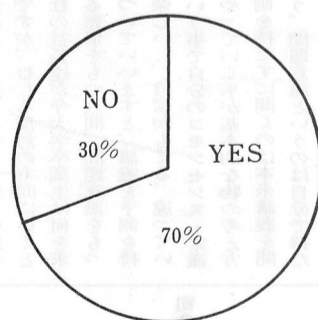
。授業は真剣に受けていますか



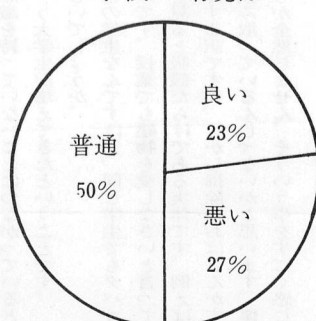
。勉強熱心な方ですか



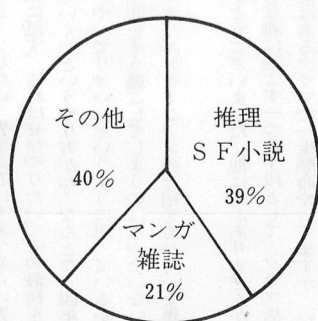
。学校は楽しいですか



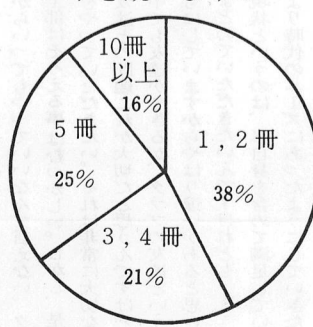
。学校の環境は



。好きな本のジャンルは



。月に何冊くらい本を読みますか



。あなたの趣味は何ですか

